

「太極拳のまち」シンボルマークが決定 地元 F M 放送局毎朝「365 太極拳宣言」

福島県喜多方市は、太極拳を通じて「健康、福祉、教育、交流」の調和のとれたまちづくりを目指すことを基本理念として太極拳普及推進事業を進めている。3月、全国で初めて「太極拳のまち」宣言を行い、4月29日には、「宣言記念式典」「宣言記念特別演武会」を盛大に挙行政した。

同市では、「太極拳のまちきたかた」の P R , イメージづくりをすすめる、太極拳のまちづくりを一層推進するために、このほど「太極拳のまち」シンボルマークを募集した。

7月1日から8月4日までの約1ヶ月の間に全国から34点の応募作品が寄せられた。市太極拳のまちづくり推進委員会の堀利一郎会長を審査委員長として、最優秀賞、優秀賞、佳作各1点の選考が行われた。同市からの要請により提出した日本連盟の意見も、審査会点数に加算する形で審査に反映された。

審査の結果、最優秀賞は喜多方市岩月町在住の渡部八百子さんの作品(左図)に決定した。作品は今後、太極拳のまち P R のため、市広報、ポスター、封筒などに広く使われる。最優秀賞の作品は、喜多方市のローマ字の頭文字「K」をモチーフに、太極拳の流れるような動きを表現。緑、青、黄、赤の4色を使い、健康、福祉、教育および交流をイメージしている。

同市では、太極拳教室が盛んに開催されている。同市は、市公式ホームページ(H P)上でも太極拳教室への参加呼びかけを行っている。現在、市民スポーツ講習会「太極拳教室」、喜多方太極拳クラブ定例練習会、シルバー太極拳教室、松山町太極拳教室、上三宮町太極拳教室、豊川町太極拳教室、生活協同組合教室、等の教室が開催されている。

「シルバー太極拳体験教室」も7月下旬から開講している。概ね60歳以上の人で、定期的に太極拳を行っていない人、これから太極拳をはじめようとする人を対象に受講者を募集して実施しているもの。全10回、第1期が7月28日から、第2期が9月19日から行われ、喜多方市保険センターが会場。毎回、血圧や柔軟度等を測定し、「太極拳愛好者ノート」に自分の身体の変化を記録しながら講習をすすめる方式で行っている。

なお、太極拳の朝練もある。太極拳愛好者有志が毎朝6:10~6:45、押切川公園体育館前広場で太極拳(入門太極拳・24式太極拳)の「朝練」を行っている(小雨決行)。同体育館は昨年「ねんりんピック」太極拳交流大会の会場となった。朝練は昨年10月から行われている。参加者は愛好者のほかに近所の方、散歩途中の方など太極拳をしていない方も巻き込んで、朝練の輪は日増しに広がりを見せ、現在では50人以上になっている。喜多方市の白井英男市長も自ら、健康のために太極拳に取り組み、毎日、朝練に励んでいる。

地元の F M 放送局「喜多方シテイ F M」が毎日早朝に放送している番組「365 太極拳宣言」も、太極拳愛好者の良きパートナーである。同局は8月5日に地元・喜多方市に開局した。開局以来、朝6時から毎日休むことなく同番組の放

送を続けている。毎回 35 分間、入門太極拳、初級太極拳、24 式太極拳のための音楽を流している(号令入りも)。

朝練に出掛けられない人でも、ラジオのFM放送の音楽に合わせて、軒下や居間等で太極拳ができることになる。いつも決まった時間に放送される音楽に合わせて太極拳に取り組むことにより、離れた場所においても太極拳仲間との一体感を味わうことができる。こうした環境はまさに「太極拳のまち」ならでのことと言えよう。

太極拳のまちづくりに関するお問い合わせは、喜多方市市民部高齢福祉課「太極拳のまち推進係」まで(電話 0241 - 24 - 5230)。喜多方市公式HPアドレスは日本連盟HPリンク集からアクセスできる。



太極拳のまち喜多方

日本連盟機関誌『武術太極拳』 166(2003年9月号)より転載

なお、喜多方市ホームページ「太極拳のまち」コーナーへのリンクは

[「太極拳のまち」宣言](#)をクリックして下さい。